

書名 学校と大学のガバナンス改革  
著者 日本教育行政学会研究推進委員会 編  
ISBN 9784873803975  
出版年月日 2009年5月20日  
本体価格 本体2,800円＋税  
出版社 教育開発研究所

## 目次

はしがき

序章 学校と大学のガバナンス改革について考えるにあたって（大桃敏行）

はじめに

- 1 学校と大学のガバナンス改革のとらえ方
- 2 供給主体の多様化と評価制度の導入
- 3 意思決定メカニズムの変動 教育アクター内での権限の集権化
- 4 ガバナンス改革の実証研究と適合的ガバナンス改革の探求

おわりに

第1部 学校のガバナンス改革

第1章 ガバナンス改革と学校改革（青木栄一）

はじめに

- 1 NPM型ガバナンス改革と初等中等教育改革
- 2 学校改革の文脈
- 3 学校改革の3局面

おわりに ガバナンス改革が教育領域に与えた影響

第2章 教育委員会制度の変革としてのガバナンス構築（宮腰英一）

はじめに

- 1 地教行法体制下における教育委員会の実態と課題
- 2 地方分権の推進とその意味
- 3 ガバナンスの構築に向けて
- 4 ガバナンス改革の試み

おわりに

第3章 地方財政危機とリスク管理（高見茂）

はじめに

- 1 国・地方財政と取り巻くリスクとNPMの導入
- 2 tool, role, ruleの変化と地方教育財政をめぐるリスク管理  
—義務教育財源・教育条件整備財源調達問題—
- 3 教育財務会計制度の可能性と展望

おわりに

## 第4章 教育と学校のガバナンスモデルと「国民の教育権」論（佐藤修司）

はじめに

- 1 種々のガバナンスモデル
- 2 教育固有のガバナンスの要件

おわりに

## 第5章 地域コミュニティ再生と学校ガバナンス改革（山下晃一）

はじめに

- 1 地方における今日的政策課題と教育
- 2 地方における教育政策共同体の再検討
- 3 地方教育政策共同体と学校ガバナンス

おわりに

## 第6章 ニュージーランドにおける学校のガバナンス改革（福本みちよ）

はじめに

- 1 行政分野のガバナンス改革
- 2 学校のガバナンス改革 「明日の学校」改革によるガバナンス改革
- 3 ガバナンス改革による学校改善支援システムの形成
- 4 2000年以降のガバナンス改革

おわりに

## 第2部 大学のガバナンス改革

### 第7章 ガバナンス改革と大学改革（羽田貴史）

- 1 大学ガバナンス 政府から市場へ移行しているのか
- 2 システムレベルのガバナンス改革
- 3 機関レベルのガバナンスの変化
- 4 ガバナンス改革の問題

### 第8章 国立大学法人における財務とガバナンスの課題（佐藤誠二）

はじめに

- 1 国立大学法人の財政環境
- 2 国立大学法人の財務実績と財務情報
- 3 国立大学法人の財務マネジメントとガバナンス

### 第9章 競争的資金に注目した国立大学間・内資金配分の実態（島一則）

はじめに

- 1 先行研究の整理と本稿の課題
- 2 分析枠組みとデータ
- 3 国立大学間競争的資金の変動
- 4 国立大学内競争的資金の変動

- 5 国立大学間・内競争的資金の連関
- 6 国立大学間・内競争的資金配分の帰結

おわりに

## 第10章 私立大学のファンディング（田中敬文）

はじめに

- 1 私立大学の現状と財政支援
- 2 高等教育分野の規制改革
- 3 イコール・フィッティングは可能か？

おわりに

## 第11章 アメリカにおける州立大学の評価と資源配分（吉田香奈）

はじめに

- 1 高等教育のガバナンス構造
- 2 業績評価と予算配分
- 3 テネシー州のパフォーマンス・ファンディング

まとめ

## 第12章 研究評価と財政配分の日英比較（米澤彰純）

—コンセンサス・メディアとしてのピア・レビュー—

- 1 評価と財政配分とのリンク  
：中心事例としての英国 RAE とその危機騒動
- 2 評価と財政配分がリンクされる文脈
- 3 グローバル化の中での大学評価と財政配分
- 4 コンセンサス・メディアとしてのピア・レビュー：日英の異同

## 第13章 大学の管理運営の視点から（荒井克弘）

はじめに

- 1 ソーシャルガバナンスと大学
- 2 法人化後の国立大学
- 3 3つの誤謬—まとめにかえて

## 第14章 ボローニャ・プロセスと学生参加（大場淳）

- 1 学生参加と歴史
- 2 学生参加の今日
- 3 課題と展望